

# チェンジ国政！板橋の会ニュース

再刊第1号／2025年8月21日(木)

編集／チェンジ国政！板橋の会事務局

連絡先／森川洋典 090-8728-1983

チェンジ国政！板橋の会「講演」と「賛同人会議」

## 戦争でなく平和の準備を

日時／2025年10月4日(土) 14時～16時

会場／板橋区立グリーンホール601集会所

(東上線大山駅・三田線板橋区役所前駅下車徒歩5分)

資料代・500円



講演／「すべての戦争NO～何よりも平和」

講師／八百川孝さん(北区平和委員会代表)

講演前に、「特別報告・ジュニアサバイバルスクール」、講演後に、「賛同人会議」を行う予定です。賛同人の皆様、ご出席ください。

賛同人でない方もご参加を！

### 当面の諸取り組みの紹介

- 8月22日(金) 成増平和パレード実行委員会  
18時～まなぼーと成増
- 8月27日(水) 平和ネット第10回相談会  
18時～仲宿地域センター
- 9月6日(土) 防災・まちづくり講演会  
10時半～グリーンホール1階ホール
- 10月4日(土) チェンジ講演会と賛同人会議  
14時～グリーンホール601
- 10月13日(月) 「父と暮せば」朗読公演会  
14時～文化会館大会議室
- 10月29日(水) 板橋歌おう会コンサート  
14時～グリーンホール1階ホール

参加が期待されています！

「チェンジ国政！板橋の会」としても応援・支援していきます。上に一部を紹介しました。参加が

「これからの予定！  
節目の年の平和関連の行事は12月まで引き続き取り組みます。

●核兵器の廃絶を！  
主催団体は省略しますが、「原爆展」「原水爆禁止世界大会派遣」「平和行進」がありました。

●その他の取り組み！  
「九条の碑を板橋につくる会発会総会」「板橋不戦のつどい」等も行われました。

戦後80年・被曝80年の夏、いくつもの平和の取り組みが進行中！



●12月に大きなつどい！  
12月10日、節目の年の平和の取り組みの最後になるでしょうか。文化会館

8月18日、オール、チェンジ呼びかけの「国会見学会」に参加。参加11名。阿久津さんの案内で、議員会館と議事堂をゆっくり見学した。議員会館の阿久津さんの部屋は、首相官邸に面した7階。窓から官邸を見下ろしながら政権交代の策を練る、なんてストーリーを考えてしまった。議員会館から議事堂へ。戦前戦後の様々な歴史の舞台となった本会議場、委員会室などを見学。完成からほぼ90年となるが、石と厚い木材の堅牢な建物に、日本の政治も憲法を中心に据えたどしどしとしたものであってほしいと願う。中央玄関に伊藤博文などの像があるのは知っていたが、衆議院の玄関には、名誉衆議院議員として尾崎行雄と並び、三木武夫の二人の胸像が並んでいた。政治家の評価は様々な観点からなされるのだと思った。議員会館に戻り、財務金融委員長室で阿久津さんとはしゃぎ話。ガソリン減税を始め、消費税、外交等、突っ込んだ質問も飛び出す。参加者からは、もっと多くの人に参加してほしかった、板橋区政についてもこんな風に語り合える時間が欲しいと希望が述べられ、引き続き機会を作っていきたい、と確認。先の衆議院議員選挙の勝利が、この時間につながっているのか、と感慨も新たに。夏休みで、子どもたちの見学者も多かったが、大人にとっても身近に政治を感じるこの出来る良い機会になった。

(第5ブロック・工藤高栄)

大ホールでの「平和のつどい」の準備が始まりました。チェンジ国政！板橋の会も協力します。「ステージ」企画の出演者募集も始まっています！詳しくはチラシを参照してください。



国会見学会の報告



# 「子ども防衛白書」配布の問題

## 教育現場への不当な介入は許せない！

防衛省は、5月に全国約2400の小学校に合計6400冊の子ども版「防衛白書」を送付しました。特定の国（北朝鮮・ロシア・中国）を名指しして防衛力強化の必要性を説いているほか、政治的に意見が分かれている安全保障政策などについて、一面的な捉え方につながる可能性があるので指摘がされています。

●どんな内容が記されているのか？

文書をそのまま子ども向け表現で書き連ねています。

●なぜならい何なのか？

この「子ども防衛白書」

は、子ども向けに平易な言葉で自衛隊の役割や日本の安全保障環境を解説して若い世代に防衛意識を植え付けることを目指し、特に国際情勢（北朝鮮・ロシア・中国）や抑止力の必要性を強調して、国家防衛の重要性を早い段階から伝える意図があります。また、自衛隊の活動は国民の理解と支持が不可欠なので、子どもたちを通じて家庭や地域社会に防衛政策への関心を広げるねらいがあります。

目次を見ると、①なぜ自衛隊は必要なのか？②日本の周りで何が起きているのか？③日本はどうするの？④大きな災害が起きたときは何をやるのか？とあり、「自衛隊は必要だ」「日本の周りで北朝鮮・ロシア・中国など大規模軍事国家が活発な軍事活動を続けていて日本にとって大きな脅威となっている」「日本は軍事力強化や他の国との協力が必要だ」として、7分野での軍事力強化やアメリカ等との軍同盟強化の必要性を強調、いわゆる安保3

要性を強調しています。これにより、子どもたちに特定の国に対する敵対意識や安全保障政策への一面的な見方を植え付ける可能性があります。

②教育現場への不適切な介入ではないでしょうか。元々「防衛白書」は政治的に議論の分かれる安全保障政策を扱っており、その子ども版を子どもたちに配布することで、軍事的な価値観を押しつける「軍国教育」の再来が懸念されます。

●自治体や学校の対応は？

配布を受けた自治体や学校の対応は多様です。文科省は、自治体からの配布の相談に対し、「各自治体の対応に委ねる」と曖昧な態度です。自治体や教育委員会・学校はこの冊子の内容を精査し、配布や使用の是非をしっかりと判断すべきです。前述した問題点が問われることは当然です。

●問題点は何か？

①特定の国を名指しし、防衛力強化の必

④憲法上の問題点もあります。憲法第二十六条（教育を受ける権利）及び教育基本法第一四条では

●そして私たちの対応は？

先ずはこの「子ども防衛白書」を読んでくださ

●板橋には他にも問題が！

板橋区内でこの5月に明らかになった「ジュニ



「アサハイバルスクール」の問題があります。昨年から小中学生を対象にした模擬鉄砲を持たせた「戦闘訓練」事業が区の施設で行われていたのです。区に対し「子どもたちの戦闘訓練は許せない」と適切な対応を求めたのですが「民間事業には口出しできない」の回答でした。区の施設利用は無しになりましたが、おもちゃとは言え鉄砲を持たせての「人殺し訓練」をしてきた事業内容には口をつぐんでいます。民間事業だからといって許せることではありません。「子ども防衛白書」と併せて、板橋区の対応を引き続き注視していきます。

（この部分の記事は、いたばし九条の会代表の中本源太郎弁護士との「子供防衛白書配布の問題点とこれに対する対応について」の貴重な提言文書をほぼ全文に渡って使わせていただきました。）

＜後記＞

○再刊第1号です。昨年の都議補選と都知事選の時に、「チェンジ国政」と「オール板橋」双方の事務局編集のニュース「板橋の市民運動合同瓦版」を発行しましたが、それ以来です。長くニュース発行が途絶えていました。お詫び申し上げます。何とか定期発行をしたいと決意しています。拡散をお願い致します。

○参院選挙の結果は、自公を少数に追いやったとは言え、改憲勢力を増やし、極端な排外主義と国民主権や基本的人権・平和主義を否定する政党の進出を許してしまいました。「チェンジ国政！板橋の会」も、活動の見直しと、賛同者の皆さんの知恵を集めた活動の展開を改めて考えて行かなければと思います。賛同人会議と「講演会」（第1面参照）にご出席ください。

○第1面の記事にもありますが、阿久津幸彦衆議院議員の案内による国会議事堂見学に私も参加しました。秘書のお二人にも丁寧なお世話を頂き、有意義な四時間経過することが出来ました。改めて国会議員の大事な大変な仕事ぶりを知ることが出来ました。感謝です。

（編集担当／T）

